



夢に生きたん

Takeokadai High School

進路指導部 第 1 号

発行日 R4. 4. 21 (木)

新学年がスタート！～夢を抱き、夢に向かって努力する武台生へ～

いよいよ令和4年度がスタートしました。不安定な情勢の中ではありますが、だからこそ、自らの将来と
そのための進路実現に向けて、「**今年度こそは頑張ろう！**」と決意を新たにしている人も多いのではないで
しょうか。



新たな学年のスタートにおいて大事なことは、まずは**しっかりと目標を立てること**。この
とき、卒業後を見据えた“**長期目標**”と、「次の考査までに」「夏休みまでに」など期間を区
切った“**短期目標**”を立てることをおすすめします。進路実現のために「今」なすべきこと
を明確にし、**具体的な取り組みを継続**できるようになりましょう。

そうした一つ一つの**努力**の積み重ねが、確かな**学力**に繋がります。進路を実現するのは
“**自分自身**”であるという自覚を持って、日々の学習に励んでください。

以下に、学年ごとの**重点目標**と**気をつけてほしいポイント**をまとめました。参考にしてください。



1年生 「予習→授業→復習」の学習サイクルと「生活リズム」の固定化を図ろう

入学したての1年生は、中学生の時よりも通学距離・通学時間が長くなる人がほとんどです。高校生活の
リズムを定着させるためにも、まずは**学習開始時間・就寝時間・起床時間**を固定しましょう。また、**携帯電
話とのつきあい方**をよく考え、ゲームや動画、LINE等に大切な時間を奪われないようにしてください。

学力向上の近道は**授業を大事**にすることです。しっかり「**予習**」をして授業に臨み、「**授業**」を経て「**復習**」で
本当に理解しているのか確認して、足りないところはその都度補っていきましょう。もちろん、**課題の提出
期限は厳守**しなくてはなりません。部活動等を言い訳にしないですむよう、早めに取りかかり、計画的に進
めていくことが大切です。



1年生の進路実現への3つの鍵

- ①三点固定 ②提出期限厳守 ③携帯電話の使用時間短縮

2年生 文系は国数英、理系は英数理中心の学習を！

教科のバランスや学習時間の配分など、より一層**進路目標を意識した学習**が求められるようになるのが2
年生です。部活動や学校行事で忙しくても、常に文武両道に励む武台生であるために、**学習時間をしっかり
組み込んだ生活リズム**を再構築しましょう。バスでの移動時間や休み時間等の**スキマ時間**も、毎日積み重ね
ていけばかなりの時間になります。ぜひ有効に活用してください。

また、同じ課題でも、形式だけを取り繕って提出するのと、じっくり考えたり丁寧に調べたりしながら取
り組むのでは全く意味が異なります。取り組み方次第で身に付く力に大きな差が生じるのです。ただ「やら
される」「こなす」のではなく、「**分かるようになろう**」「**できるようになろう**」という気持ちで一つ一つの課
題と向き合っていくしましょう。



2年生の進路実現への3つの鍵

- ①具体的な進路目標の設定 ②学習時間の確保 ③課題の取り組み内容の充実

3年生 「受験は団体戦」！！学習する雰囲気を作っていこう



すべてが「高校生活最後の〇〇」となっていくのが3年生。盛り上がる時は大いに盛り上がり、授業は授業でしっかりと集中しましょう。クラス全員で協力してメリハリのある雰囲気・環境を作り、限られた時間を最大限に活用しましょう。

また、スタディーサポートや「学習の軌跡」を活用して、時間の使い方や学習の仕方を見直してみることも必要です。自分の得意・不得意をきちんと把握し、志望校の受験科目や配点、過去問も念頭に置いて、進路実現につながる力を蓄えていきましょう。

3年生の進路実現への3つの鍵

①最後までやりきる
[受験も部活動も粘り強く！]

②全員で頑張る
[自習も行事も必死に！]

③勝負できる科目を作る
[文系は英語、理系は数理英]

学習の「量」と「質」の向上を目指そう！～「学習の軌跡」の活用を～

各教室や職員室の入り口にある学年カラーの掲示を確認しましたか？これらは進路実現のために意識してほしい『自宅学習時間の目標』です。具体的な数字は以下の通りです。

	1年		2年		3年	
	部活生	部活生以外	部活生	部活生以外	部活生	部活生以外
平日	2時間	2.5時間	2.5時間	3時間	3時間	5時間
休日	4時間	5時間	5時間	6時間	6時間	10時間
週	17時間	20時間	20時間	25時間	25時間	40時間



登下校に時間がかかる人や、放課後も休日も部活動に励む人が多いのが武台生です。帰宅後や朝の限られた時間をやりくりして学習に取り組まなくてはならず、ちょっと気を緩めてしまえば、すぐに学習時間が足りなくなってしまう。

だからこそ、一人一人が「毎日これだけの時間を確保するんだ！」という意識を持つことが欠かせません。1日単位での確保が難しいければ、1週間の中で調整するという方法もあります。「学習の軌跡」を活用して自分の学習状況をきちんと把握しながら目標達成を目指しましょう。また、今年度から始まる「準備の時間」に主体的に取り組むことにより、隙間時間の有効活用も心掛けてみましょう。

学習は時間が長ければそれでよいというものではありません。しかし、ある程度の時間をかけなければ、必要最低限のことさえやりきれず、内容も深まっていけないというのも事実です。受験直前になって急に学習時間を増やそうと思っても、学習する習慣や集中力のない人は確実に苦勞します。

学習の「量」と「質」。どちらも向上させて、学力とともに、受験を乗り切るための「体力」＝「忍耐力」を身につけていきましょう。

休日、どこで勉強しますか？～あなたは自宅派？学校派？～

休日の部活動前の午前中や練習後の夕方など、“登校したついでに”勉強も進めてしまえば一石二鳥です。意識的に自分が**学習しやすい環境に身を置く**ことは、集中して取り組むための第一歩。休日も学校をどんどん利用してください。

休日の学校利用のきまり

【時間】8：30～16：20

【教室】1・2年生＝大会議室（冷暖房○・昼食時の飲食○）

3年生＝視聴覚室（冷暖房○・飲食×）または**自分のクラス**（冷暖房×・昼食時の飲食○）

※鍵は事務室で借りること。→貸出簿に使用教室・使用開始時間・生徒氏名を記入

※使用後の施錠・鍵の返却は確実に。

